

平成27年7月21日

各位

会社名 株式会社安川電機
代表者名 代表取締役会長兼社長 津田 純嗣
(コード：6506 東証第1部、福証)
問合せ先 広報・IR部長 林田 歩
(TEL. 03-5402-4564)

上場廃止となった子会社（株式会社ワイ・イー・データ）に関する決算開示について

平成27年7月21日をもって完全子会社化した、株式会社ワイ・イー・データに関する平成28年3月期第1四半期決算短信（平成27年3月21日から平成27年6月20日まで）について、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

平成 28 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 27 年 7 月 21 日

会社名 株式会社ワイ・イー・データ URL http://www.yedata.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 兼幸
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部担当部長 (氏名) 向野 康宏 (TEL) 04(2932)9850
 配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 27 年 3 月 21 日～平成 27 年 6 月 20 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 1 四半期	685	△17.3	△43	-	△30	-	91	-
27 年 3 月期第 1 四半期	829	53.7	△112	-	△106	-	△334	-

(注) 包括利益 28 年 3 月期第 1 四半期 99 百万円 (-%) 27 年 3 月期第 1 四半期 △336 百万円 (-%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 3 月期第 1 四半期	4.82	-
27 年 3 月期第 1 四半期	△17.55	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28 年 3 月期第 1 四半期	5,078	4,320	85.1
27 年 3 月期	5,110	4,221	82.6

(参考) 自己資本 28 年 3 月期第 1 四半期 4,320 百万円 27 年 3 月期 4,221 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 3 月期	-	0.00	-	0.00	0.00
28 年 3 月期	-	-	-	-	-
28 年 3 月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成 27 年 3 月 17 日に株式会社安川電機との間で株式交換契約を締結しております。本株式交換による当社の完全子会社化に伴い、平成 27 年 7 月 15 日付で当社の株式が上場廃止になりましたので、配当予想は行っておりません。

3. 平成 28 年 3 月期の連結業績予想 (平成 27 年 3 月 21 日～平成 28 年 3 月 20 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	1,450	△1.7	△65	-	△40	-	85	-	4.46
通 期	3,200	5.0	80	-	95	-	210	-	11.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	19,730,959株	27年3月期	19,730,959株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	674,032株	27年3月期	673,832株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	19,057,077株	27年3月期1Q	19,060,897株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であります。

※ その他特記事項

当社は、平成27年3月17日開催の取締役会において、株式会社安川電機を株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結しております。また、平成27年6月16日の定時株主総会において本株式交換契約の承認を受けたことにより、平成27年7月15日をもって上場廃止となりました。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) セグメント情報等	6

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間（平成 27 年 3 月 21 日～平成 27 年 6 月 20 日）は、ガルバノスキャナシステムが前期に引き続きリピート受注に加え新規市場の開拓の成果が出てきており、電極塗布装置も新規設備投資の回復が持続しておりますが、ロボット応用システムが食品業界や一般産業向けの市場開拓の端境期となっているほか、情報通信ビジネス分野のフォトキオスク端末に新機種投入に一服感がでてきて減少しております。

これらの結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は 6 億 85 百万円（前年同期比 17.3%減）となりました。

損益面では、売上は減少したものの引き続き事業・コスト構造改革を強化したことにより、営業損失 43 百万円（同 68 百万円の損失減）、経常損失 30 百万円（同 75 百万円の損失減）に縮小いたしました。四半期純損益は完全子会社化に伴う連結納税開始に際しての法人税等調整額計上により 91 百万円の黒字（同 4 億 26 百万円増）となっております。

当社グループでは、事業内容を 2 つのセグメントに分けております。

当第 1 四半期連結累計期間の各セグメント別の業績動向は、つぎのとおりです。

セグメントの名称	売上高（前年同期比）	営業損益（前年同期比）
オプトメカトロニクス	5 億 24 百万円 (13.6%減)	△49 百万円 (68 百万円損失減)
情報通信ビジネス	1 億 61 百万円 (27.3%減)	5 百万円 (0 百万円増)
合 計	6 億 85 百万円 (17.3%減)	△43 百万円 (68 百万円損失減)

[オプトメカトロニクス]

ガルバノスキャナシステムでは、高出力レーザ対応スキャナヘッドユニットは自動車関連業界向けの溶接および車載電池関連向けのリピート受注が売上に寄与しているほか、展示会効果等で新規顧客から幅広い用途で引き合いが増加しております。レーザを含む光学ユニットでも電子部品業界からのリピート受注に加え、レーザメーカーと連携した UV レーザを利用した新分野への拡販を目指しております。

ロボット応用システムは、酒造業界や一般産業向けの市場開拓に成果がみられたものの、前期拡大した製氷業界向けが一巡したことで売上が減少いたしました。今後は食品業界だけでなく一般産業界を含めた新規顧客の開拓、商社と連携した市場開拓を強化してまいります。

電極塗布装置は、前期からのスマートフォン・自動車用電子部品業界での新規設備投資の回復が持続しているほか、スマートフォンの新モデル向けの受注を獲得しております。

レーザマーキング装置では、堅調な保守サービスに加え、液晶市場の新規設備投資の引き合いが回復してきているものの、当第 1 四半期連結累計期間での売上には至っておりません。

これらの結果、売上高は減少いたしました。損益面では、売上は減少したものの、材料コストダウンや工数生産性の向上といった原価低減に取り組んだことで、損失幅が縮小いたしました。

[情報通信ビジネス]

放送業界向けのカードリーダーが堅調に推移しておりますが、フォトキオスク端末での新機種の市場投入に一服感がでてきているほか、データ復旧サービスも市場の縮小傾向が続いており、売上高が減少いたしました。損益面では経費圧縮につとめ、前年同期並みの黒字を確保いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(当第 1 四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況)

資産の部では、主に受取手形及び売掛金が減少したことなどから、資産の合計は前連結会計年度末比 31 百万円減の 50 億 78 百万円となりました。

負債の部では、仕入の減少に伴い支払手形及び買掛金が減少したことなどから、負債合計は前連結会計年度末比 1 億 31 百万円減の 7 億 58 百万円となりました。

純資産の部では、利益剰余金の増加などにより、純資産合計は前連結会計年度末比 99 百万円増の 43 億 20 百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 28 年 3 月期（平成 27 年 3 月 21 日～平成 28 年 3 月 20 日）の連結業績予想につきましては、当第 1 四半期連結累計期間に完全子会社化に伴う連結納税開始に際しての法人税等調整額を計上したため、第 2 四半期（累計）および通期の当期純利益を修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関わる事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,080	1,045
預け金	300	324
受取手形及び売掛金	1,352	1,265
製品	128	111
仕掛品	292	249
原材料及び貯蔵品	131	134
繰延税金資産	-	37
その他	97	98
貸倒引当金	△ 0	-
流動資産合計	3,383	3,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	286	281
機械装置及び運搬具(純額)	55	51
土地	326	326
その他(純額)	14	13
有形固定資産合計	682	673
無形固定資産		
その他	2	2
無形固定資産合計	2	2
投資その他の資産		
投資有価証券	748	758
繰延税金資産	-	87
その他	319	316
貸倒引当金	△ 25	△ 25
投資その他の資産合計	1,042	1,136
固定資産合計	1,727	1,812
資産合計	5,110	5,078
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	362	315
未払費用	148	131
未払法人税等	6	5
製品保証引当金	26	21
その他	101	58
流動負債合計	645	533
固定負債		
長期未払金	241	223
その他	2	1
固定負債合計	243	225
負債合計	889	758
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,008	5,008
資本剰余金	522	522
利益剰余金	△ 1,158	△ 1,066
自己株式	△ 168	△ 168
株主資本合計	4,203	4,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	3
為替換算調整勘定	13	21
その他の包括利益累計額合計	17	25
純資産合計	4,221	4,320
負債純資産合計	5,110	5,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

	(単位:百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年6月20日)
売上高	829	685
売上原価	790	588
売上総利益	39	97
販売費及び一般管理費	151	141
営業損失(△)	△ 112	△ 43
営業外収益		
受取利息	1	3
為替差益	-	0
持分法による投資利益	5	7
その他	0	2
営業外収益合計	7	12
営業外費用		
為替差損	0	-
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常損失(△)	△ 106	△ 30
特別利益		
投資有価証券売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
退職給付制度終了損	225	-
特別損失合計	225	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 332	△ 30
法人税、住民税及び事業税	2	2
法人税等調整額	-	△ 124
法人税等合計	2	△ 122
少数株主損益調整前四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 334	91
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 334	91

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

	(単位:百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 334	91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 0	△ 0
為替換算調整勘定	△ 0	7
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△ 1	7
四半期包括利益	△ 336	99
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 336	99
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第 1 四半期連結累計期間（自平成 26 年 3 月 21 日 至平成 26 年 6 月 20 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	オプトメカトロニクス	情報通信ビジネス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	607	221	829	-	829
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	607	221	829	-	829
セグメント利益又は損失(△)	△117	5	△112	-	△112

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第 1 四半期連結累計期間（自平成 27 年 3 月 21 日 至平成 27 年 6 月 20 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	オプトメカトロニクス	情報通信ビジネス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	524	161	685	-	685
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	524	161	685	-	685
セグメント利益又は損失(△)	△49	5	△43	-	△43

(注)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。